

自治会連合会理事会（5月）議事録

日 時 令和8年5月20日（水）午後2時～
場 所 市役所3階 3B会議室

【冒頭】

伊勢原警察署地域防犯連絡所連絡員への委嘱状交付について

1 あいさつ

2 議 題

(1) 市等協議事項

①地域安全ニュースについて【回覧】

(伊勢原警察署生活安全課 署員)

- ・4月末時点の刑法犯総数は197件。特に自転車盗（40件、うち約8割が無施錠）や車上ねらい（9件、前年比+8件）が増加している。
- ・特殊詐欺の被害総額は約1,226万円に上るので注意して欲しい。

②「市政出前ミーティング」の活用について【依頼】

(市民協働課 山田係長)

- ・交通安全、防犯対策などのテーマについて、市職員や警察署員が地域に出向いて説明を行う出前ミーティングを昨年度に引き続き実施する。
- ・希望する場合は開催1ヶ月前までに申し込みをお願いしたい。

③男女共同参画社会を考える情報誌（ききょうフォーラム通信）第75号について【回覧】

(人権・広聴相談課 守屋課長)

- ・2月に開催されたフォーラムの内容や、参加した高校生の感想を掲載しているので、回覧をお願いしたい。

④伊勢原市消防運営委員会委員の推薦について

(消防総務課 山口課長)

- ・現委員の任期満了に伴い、委員1名の推薦を依頼。
- ・任期は令和8年7月1日から2年間である。

⑤伊勢原市清掃美化審議会委員の推薦について【依頼】

(清掃リサイクル課 神崎課長)

- ・現委員の任期満了に伴い、委員1名の推薦を依頼。
- ・任期は令和8年7月から2年間である。6月15日までに推薦書を提出いただきたい。

⑥-1 令和8年度敬老事業助成の実施について【周知】

- ・80歳以上の方1人につき800円を助成する。
- ・今年度は事務円滑化のため、書類配布時期を7月から6月に前倒ししている。

【質疑応答】

Q:各自治会への周知はどのように行うのか。

A:6月の地区定例会に職員が伺い、直接説明を行う予定である。

-2 令和8年度敬老事業に伴う老人福祉センター阿夫利荘の予約について【周知】

- ・阿夫利荘の利用予約は6月10日が期限となる。

(長寿介護課 中村課長、濱田係長)

⑦熱中症警戒アラートの周知【回覧】

(健康づくり課 市川係長、蝦名保健師、堀内保健師)

- ・2024年4月から新設された熱中症特別警戒アラートについて周知いただきたい。
- ・発令時は防災行政無線でも放送される。市内に5箇所のクーリングシェルターを設置している。

【質疑応答】

Q:以前のクールシェアとの違いは何か。

A:クールシェアは現在行っておらず、クーリングシェルターは特別警戒アラート発令時にのみ開放される。

Q:クーリングシェルターは現在何箇所設置されているのか

A:現在は市役所、図書館、中央・南・高部屋公民館の計5箇所である。今後、民間企業の協力も得ながら増やしていく予定である。

⑧国民健康保険の税率の改定、いきいき健診受診の案内について【回覧】

(保険年金課 石川課長、佐藤係長)

- ・医療費の増加や子ども・子育て支援納付金の導入に伴い、令和8年度から保険税率を改定した。平均約11.4%の引き上げとなっている。

【質疑応答】

Q:加入者には既に郵送で案内が届いているが、改めて回覧で周知する理由は何か

A:重要な改定であるため、今回は複数の媒体を通じて周知を行っている。

⑨新たな防災気象情報について【回覧】

(危機管理課 山田主事)

- ・5月29日から気象警報に警戒レベルの数字を表記するなど、避難指示の発令基準がより分かりやすくなる。(例:レベル4大雨危険警報)

【質疑応答】

Q:回覧が白黒では警戒レベルがわかりにくい。カラー版での周知はできないか。

A:回覧は白黒だが、回覧のQRコードからカラー版を確認できるようにしている。

Q:市の公式LINEの登録者数はどのくらいか。

A:約3万4,000人(登録率約34%)であり、県内では上位の普及率である。

Q:「警戒レベル4」が発表された段階で、避難所は開設されるのか

A:風水害の場合は、レベル4の避難指示が出る前の段階(大雨が降り始めた際など)から自主避難所を早めに開設する。レベル4が発令された段階で、それを正式な避難所に繰り上げる運用を検討している。

⑩伊勢原市スポーツ推進審議会委員候補者の推薦について【依頼】

(スポーツ課 金子係長)

- ・現委員の任期満了に伴い、委員1名の推薦を依頼。
- ・任期は令和8年8月1日から2年間である。

⑪外国人住民に向けた傾聴ボランティアの設置について【周知】

(市民協働課 久保田課長)

- ・6月から月2回、市民協働課にて英語・タガログ語対応の相談窓口を開設する。
- ・フィリピン人住民がボランティアとして対応する。

【質疑応答】

Q:自治会はこの周知チラシをどのように使用すればよいのか。外国人本人がこの制度を知らなければ意味がないのではないのか。

A:自治会長が地域活動の中で、言葉の壁などで困っている外国人を見かけた際に、チラシを渡して相談窓口を案内してもらうことを想定している。

Q:なぜタガログ語なのか。最も多いベトナム人向けではないのか。

A:ベトナム人は地域コミュニティが形成されている一方、フィリピン人からの複雑な相談が増えている現状があるため、まずはこの2言語から開始する。

(2) 連合会協議事項

①令和8年度自治会連合会総会について

令和8年5月22日(金)午後2時～ 伊勢原市民文化会館小ホール

②伊勢原市シルバー人材センター理事の推薦について

③自治会長研修会について

・令和8年7月18日(土)午前10時から、伊勢原市民文化会館小ホールにて開催

④各委員の推薦について

(3) 意見交換

3 その他

○各自治会における納涼祭等の実施予定について

○次回理事会 6月19日(金)午後2時から 市役所2階 2C会議室

○地区定例会の日程確認

4 閉 会